

ゆらの通信

Vol.16

平成24年12月

今年もあと残すところわずかとなりました。

1年の計、大晦日（おおつごもり）は今年1年365日重ねた時間をふりかえる季節。まずは「ゆらの通信」の発行が大幅に遅れたこと、大変申し訳ありませんでした。通信Vol.16をお届けします。

標高620m、由良野の森は雪化粧の本日12月26日です。空もキンと凍る季節。月夜に青く輝く森から、平成24年度後半の活動をご報告いたします。会員みなさんに育てていただいている森の活動です。どうか後半の記録にお目を通してください。



いまでは、とても仲良し、ヤギと羊・・・

2012年7月19日 パステル工房（心身障害者共同作業所）さんと窯焼きピザ

久万高原町にある作業所「パステル工房」。

いつもはおいしいクッキー作りなどに取り組んでおられます。

この日はスタッフのみなさんと一緒に、ゆらののピザ焼き体験で森に遊びに来られました。

生地作りからトッピングの野菜切りまでみんなで準備。個性豊かなピザに舌つつみ。

これからもぜひいろんな方に森を利用させていただきたいと思っています。



2012年7月25日 ネムの花と大豆

気候の変化が読めない昨今、旧暦で農作業を行うプロの農家さんも頭を痛められています。
「ネムの花が咲いたら大豆を落とす（種をまく）」と教えていただき早速実行。
見事に芽を出したのは「久万山大豆」小粒で味の濃い大豆です。秋に収穫しました。

ネムの花



大豆の芽



ハウスの中で作業



豊作に感謝です。

2012年8月5日 第6回手打ちうどん大会

夏休み恒例の「うどん打ち」。

今年も松山市衣山の「うどん坊」中塚さんご夫妻がおいしい手作り出汁と薬味のネギ、天かす、うどん小麦を持って朝早くから森に来てくださいました。

丁度全体の合宿がゲストハウスで終了したこの日、合宿からの合流もあって子ども達で賑わいました。

よく食べる子どもたち



おいしいものは
わかりますねえ…



見事な連携プレーは長年の
おつれそい同土ならでは！



2012年8月5日 第48回こども森林博士号講座 (川へ行こう！生き物探そう)

午後から暖かい小雨の降る中、二名川へ。3歳から中学生まで思い思いに石を渡り、川の生き物を見つけました。ベテラン森林博士たちはMY釣り道具持参（さすが！）。これがまた、次々釣り上げてみんなをびっくりさせました。



小雨の日は釣れやすい…ということもしっかり学びました。

2012年8月8日 スケルトンソーラーパネルとビニールハウス

会員の先野さんが総会で提案して下さっていた「エネルギー実験装置」。
この夏トマトで成果を収めた「ハウス」に、先野さん提供のガラスのソーラーパネルと蓄電システムを設置。発電してファンを回したり電柵に使っています。

あいテレビが取材に来られました。
「異業種コラボでエコ実験」というコーナーで放送されました。



トマトの苗は会員の上本さんからいただきました。

2012年8月12日 池の大賀蓮（古代蓮）

松山市東大栗にある「医座寺」の熊沢住職（会員）に頂いた古代蓮。花の時期が長くて次々と色々な色形で咲きます。お盆の頃には近所の方も採りに寄られ、由良野の古道に座る太師坐像にも供えられます。



2012年8月20日 由良野遺跡の調査隊

中央大学・徳島大学の先生と生徒の皆さんが由良野遺跡の有舌先頭器などの遺物調査に来られました。

今年大豆を植えていた開墾地では、今から3年半まえ開墾作業中に草創期縄文時代の「槍先」が見つかりました。今は「ゆらの」で管理しているこの有舌



先頭器などを、県外の大学から調査に来られました。町内にある有名な上黒岩岩陰遺蹟との関連を含め地道な研究です。四国山地の古代ロマンにワクワクしますね。

2012年8月20日 カブトムシ羽化

ヤギの放牧場用に開墾中の土地に、積み上げていた大量の木材伐採クズの下で何百匹??



というカブトムシの幼虫!!
整地するにあたって1日ばかりで幼虫を救出しました。
会員でゲストハウス建築も手がけて下さった棟梁 勝本さんは、実はカブトムシ博士。いろいろ教えていただいて見事成虫に～。

雪の日の勝本さん



2012年9月10日 スズメバチバスターズやって来る。

ゲストハウスと由良野生生態研究所の軒下にスズメバチの巣。

「スズメバチの巣を見つけたらこの方たちに…」という地元の噂を聞いて早速きていただきました。

防護服も使わず、ネットもかぶらず見事GET!! 成虫は焼酎漬けに幼虫はバター炒め。精がつくそうです。

一匹ずつピンセットでつまむ



焼酎漬けはゲストハウスにあります。
お試しになりたい方はお申し出を!!

エビフライ味?

2012年9月14日 野ウサギの仔2羽発見

梅雨明けから秋までは草刈の作業が続きます。草刈中にカヤの根元にスッポリ隠れた野ウサギの巣と子ウサギ2羽を見つけました。「どうしようか〜?!」と悩んだのですが、山本栄治さんに相談して、①もう目もみえていること②かなり大きくなっていること から自立も可能だろうと判断して自然の力に任せることにしました。栄治さんの予想通り、次の日巣はもぬけの空。きっと母ウサギが戻って場所を移動したのだと思うのですが。雑草だらけで手入れされてない土地も、多様な生き物の暮らす環境になっているのだと実感するこの頃です。



巣の入口



2012年9月15日 子ヤギたちの旅立ち

春に5頭生まれた子ヤギのうち、残っていた人懐っこい「チビ」と「チャタ」がもらわれていきました。特別小さく生まれた「チビ」は森を訪れる方々に大人気だったので寂しくなりましたが、一番つらそうだった管理人の次男(9歳)が送り届けに行き、幸せそうな新居に安心して戻ってきて一件落着となりました。生き物と身近に暮らすということは、たくさんの「思い」を体験することでもあるようです。



2012年9月20日 父二峰小学校児童校外学習 第2弾

3～4年生11名が春に続いてやってきました。今回は動物の世話班と、草木染め体験班に分かれて、濃い体験をしてもらうことが出来ました。子ども時代に体で感じるいろいろな「体験」が、大人になった今も鮮やかに、そして大切な宝物として生きていると思う今日この頃。子どもたちは草木の匂い、風の温度、ヤギミルクの味、家畜小屋の掃除や草木染めの火鉢を薪で沸かすことまで、しんどいけど達成する喜びを実感してもらえたかな？この体験学習は、子ども達がきちんとまとめて10月の公開授業で発表されました。「ゆらの」からも特別講師で小学校に出張しました。



ヤギ乳でアイスクリームやヨーグルト作りに挑戦

学習のおわりにはみんなで「いただき！」

2012年9月25日 切断機でススキとセイタカアワダチソウを処理

天恵緑綬（てんけいりょくじゆ）という言葉をお教えたのは久万高原町の篤農家。例年は草を刈って刻むのを飼葉切りでやっていたのですが、今年は近所の方から機械をお借りしました。「早い早い…」それでも軽トラックを何度満載にしたことでしょう。何日もかけて刻んだススキは畑に積んで来春の肥やしになります。

素人の畑もベテラン農家のみなさんの知恵を学んで少しずつまともな野菜ができるようになってきました。

ありがたいことです。



畑の野菜は自給の他、ゆらののイベント時の料理などにつかっています。

2012年9月26日 アケビがたくさん成りました

今年はアケビもドングリも実りの多い年でした。森に生きる生き物の多くがこの実りに依存していることを考え、少しホッとした秋でした。



2012年10月7日 第49回こども森林博士号講座 (秋の虫や木の実を探そう)

虫大好き、山大好き、好奇心旺盛なこども博士たち。

秋の山の幸を探して森を駆け回りました。一番人気はアケビにムカゴ。

色んな虫や植物、森の不思議も山本栄治さんがガイドしてくださいました。



2012年10月7日午後 炊き込みご飯の昼食とムクノキ林の草刈

お昼ご飯はせいろで蒸した森の栗入り炊き込みご飯に、野菜のスープと沖縄ぜんざい。

みんなで作りました。午後は春に植えたムクノキ林の草刈作業。本当にたくさんの方が駆けつけてくださいました。みんなで作ってゆく森。年々豊かになっていきます。



2012年10月12日 池での出来事

春の薄氷の頃から初雪の12月まで、由良野の池にはいつもカエルの声がしますが、この日の声は特別でした。管理人が近寄ってみるとご覧のとおり。

トノサマガエルがヤマカガシに噛まれて出している声！今まで聞いたことのないあまりに悲しい鳴き声に、思わず棒でつついて、カエルを逃がしてやりました。スーと池へ泳ぎだったので、きっと間一髪助かったのでしょうか、蛇には迷惑な話ですが・・・。



2012年10月14日 久万中学校PTAのみなさん 草木染めとピザ

地元久万中学校の企画研修で由良野に来られたPTAのみなさん。草木染めはセイタカアワダチソウとクリのイガや渋皮を使いました。地元の食材を使ってピザで昼食。校長先生も学年主任の先生も釜爺に変身。由良野のゆっくり流れる時間を満喫して頂けたら幸せ。



2012年10月19日 クマタカ舞う森

今年も舞いました「クマタカ」。運がいいと時々見ることができます。なかなか空を見上げる機会は少ないですが、高く舞い上がる優雅な姿を見ると嬉しい気持ちになります。クマタカは森林生態系の頂点に位置し、「森の王者」と呼ばれる絶滅危惧種です。



このあたりを飛んでいます。

2012年10月30日 明神小学校校外学習

一昨年に続き、明神小学校の3～4年生が総合学習の時間にやってきました。鬱蒼としてきた8年目のクヌギ林で「木を切る体験」。大きな枝ぶりの木が1本倒されると明るい日が差し「電気がついたかと思った〜!」と歓声が上がりました。仕事(?)したあとの探検や焚き火も子ども達の自発的探究心がはちきれ、どんどん元気になっていくのが伝わりました。野鳥調査中の山本栄治さんにも、小さく暖かい野鳥を体験させてもらいました。



出来れば、多くの子ども達が野に放たれる体験のお手伝いできればと願っています。



2012年11月6日 久万高原町食生活改善推進協議会の皆さん来られる

大型バスで研修会に来られた皆さん。この町で暮らす、大先輩にもっともっと教わりたいことがあると改めて気付きました。手作りの暮らしを知る女性の優しさや忍耐強さ苦勞も喜びもしっかり心に刻む前向きな皆さんにお会い出来て役得でした。私たちが試行錯誤しながらやっていることも既にここにあると確信しました。



2012年11月9日 福嶋浩彦さん来られる

前消費者庁長官で、現在は千葉の中央学院大学教授の福嶋浩彦さんに「住民自治」を学びました。自分たちの暮らしは自分たちで創るという講演が、久万高原町内で開かれたその夜、由良野の森に宿泊され、いろいろなお話を伺うことができました。

人口の減り続けている中山間地の町は、実は日本中でこれから起こる人口減少高齢化の先端なのだという事。量より質の向上を目指してソフトランディングしていくために、私たちができることを考えていく必要があります。

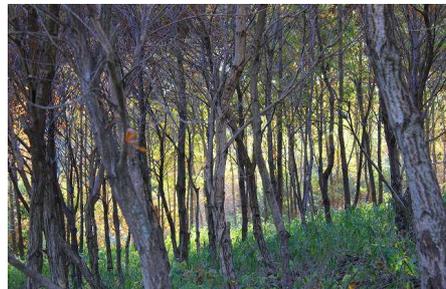


森で脱柵中の羊
(リキ)とご対面！

2012年11月18日 紅葉の共生林

今年の冬は例年より少し寒さが穏やかなまま経過中ですが、急に冷え込んだ11月の紅葉はとても綺麗でした。絵葉書にしたいくらいです。

来年にはぜひ実現したいと思っている「由良野の森写真コンテスト企画」をご期待下さい。



2012年12月9日 会員親睦お餅つき

今年最後の企画は、恒例になった会員親睦お餅つきでした。
前日夜からの雪に、ちょっと慌てた事務局でしたが、勇気と好奇心あふれる
ゆらの会員の皆さんに助けられ、なんと15臼!! 約28キロ!!
宮城から移住してこられた会員の守屋さんご夫妻には、東北ではよく食べるという
黒ごまだれを作っていました。
お雑煮づくりも前日からお手伝いいただき、ありがとうございました。



子どもたちは雪遊びに夢中!



この日、ここまでたどり着いた人にご褒美って感じてした。

大人も夢中な人がいました。カマクラ、りっぱでしたねえ…。子ども達だけで工房から木切れを持ち出し、ダンボールでソリ遊びはじめてました。

事務局より

今年の初夏から、いきなり湧いた三坂峠の産業廃棄物処分場設置問題で大揺れの久万高原町でした。谷は違いますが由良野の森から直線距離で7km。桂ヶ森の真裏の話。フクシマ原発事件以降、自然への汚染に敏感になった人と、より鈍感になった人が存在するように思います。静かな町にも人の心を動かす風が吹きました。

私たち人の暮らしと自然は相互に深くつながっていて、ひとつのサイクルで結ばれている一点ずつにすぎません。そのことを改めて感じるようになりました。

私たちは10年前に数名の発起人が木を植えることから始まったこの森で「自然と人の相互依存と共生関係」を考え、幸せを体験する場を作るべく活動を続けてきました。

「美しい」と感じる風景も、「汚い・醜い」と思う風景も、私たちの暮らしが何らかの影響を及ぼさないものはないと、心から実感する日々です。

やはり「心」。目には見えない、数字で表せない。でも感じることでできる人の心。新しい年は、この基本から由良野の森をスタートしたいと思っています。

事務局へもご意見をお寄せください。

それでは皆さまどうか良い年をお迎えくださいませ。